



町道西川本線道路改良舗装工事

産業建設常任委員会

●現地調査

町道西川本線道路改良舗装工事の進捗状況は、延長250m区間工事中であった。

は現行通りの定数で実施する方針となった。
その他
・現在、討論を自席で行っているが、本来は登壇し議員席に向いて行すべきではないか、

と提案があった。

採決の結果、今議会の最終日から行うことで一致した。

・議会改革に向けた先進地視察を予定した。

尾道松江線工事現場

・東上原橋 下部工事
(大字赤屋地内)

・別迫第6改良工事
(大字別迫)

堆肥の屋内保管の状況

A 鶏舎 下津田
保管量1751t
B 鶏舎 吉原
保管量1312t
C 鶏舎 青水
保管量1243t
賃貸期間はA・B鶏舎がH17年～22年賃貸料が入金されていない状況。両者は歩調を合わせ肥料販売業者に契約解除通知を出した。
C 鶏舎はH23年10月仮解除の状況。

●事務調査

町道安田徳一線道路改良工事一時中止の状況は

H23年12月9日から、徳市を除く工事が再開した。

対策工事には国の承認が必要であり、現在、県と協議中のため工事の着手および、完了の時期は未定。

世羅町農業生産物放射性物質(調査)状況は

県内産農畜水産物の放射性物質検査第8報の検査結果によると、米、アスパラ、ブドウ、なし、牛肉、生乳、牡蠣、レモン、みかんの9品目からセシウム134、ヨウ素131は検出されていない。

指定管理の実態は

せらにし青少年旅行村

秋以降の営業は、人件費の抑制のため現地に人員を配置せず、10月26日から電話の予約のみの営業を実施。

この状況では、来園者の事故など問題点を指摘し、11月14日管理者に人員配置を指示した。

その後の安全管理は、12月12日から毎日巡回し、施設内の点検ができる人員が配置された。

H23年度の利用状況は11月末時点で、約5千人で、昨年に比べ約2百人の増。

せら香遊ランド

H23年度の利用状況は、11月末時点で約3万2千人、昨年に比べ約7百人の増。

八田原グリーパーク

H23年度の利用状況は、11月末時点で約3千人、昨年に比べ約8百人の増であった。

公共下水道事業調査特別委員会

●現地調査

出口地区(甲山本通り)下水道新設工事の調査。現場は工事延長179mあり直径15cmの下水管が新設される。11月末現在で進捗状況は43%であった。

●事務調査

工事に関しては色々問題があるが連坦地区ということもあり、早めの対応が求められる。民家も隣接しており



出口地区(甲山本通り)の下水道新設工事

接続に関しては多額の経費がかかる状況である。

使用料金は現在事業所込みで7千円程度であり、接続率の向上が必要である。

今後の見込みは、H24年度甲山ホテルから榎橋までは伸ばす予定。まずは幹線を設置できないと面整備は進まない。また、大田町・昭和町付近については、浄化槽を設置するスペースが少なく「早期の設置要望」もあり、早期の取り組みが望まれる。

また、早期説明会の開催が望まれるため、整備できる状況になったら早期に説明会を開催するよう申し入れた。

視察研修報告



高知県安芸市「国保ヘルスアップ事業」の調査研修

総務文教委員会

H23年10月11日と12日で四国の安芸市と須崎市を視察した。安芸市は「国保ヘルスアップ事業」の調査研修を行った。

生活習慣病者への保健指導の実施、大動脈血管障害の予防のため40～50代の特に男性をターゲットに受診を推

奨、糖尿病患者の良好なコントロールのため主治医と連携し支援に取り組んでいる。

ほか、健康づくり推進団体として「元氣・ふれあい会議」を11の団体で組織し、国保ヘルスアップ事業として取り組みを展開している。特定検診率の向上を図るため中学生参加の検診啓発パレードを行ったり、税務申告会場で検診を行うなど、受診率65%を目指し事業を展開していた。

これにより受診率も向上し、住民の健康に対する関心も高まった。地区ごとに主体的に健康づくりに取り組む母体を形成させていた。

受診率が決して高いといえない世羅町では参考とすべきところが多くあった。
(参考世羅町は約40%)

次に須崎市は40～50代の検診率が低くH22年より40歳から59歳の全市民に癌の小冊子と集団検診の日程配布、女性特有の癌検診での無料クーポン配布、夜間の受診推奨の取り組みで受診者が前年度より811人増加していた。

産業建設委員会

8月22・23日の両日、徳島県勝浦町と上勝町を視察した。目的は、廃校を活用した地域間交流事業、地域活性化事業、並びに定住促進事業の取り組みを調査した。

① 最初の視察地「ふれあいの里さかもと」は、地元元体制よりも、補助事業が先に採択となり、地元調整が不調となった時期に、一旦役場に補助事業の話を返した経過があり、地

元を二分する議論となった。再度整備する段階で、地元委員が議会全員協議会で意志表明を行った。町のリーダーシップによって実現した。

事業費概要は、改修費1億8千万円(補助率50%)、備品購入費3千万円(単独町費)軌道に乗るまでの5年間は、町が光熱水費を支払う。

エレベーターは追加施設、耐震補強は整備



廃校を活用した地域間交流研修施設(徳島県勝浦町)

時に実施、家庭科室を実習室へ転用、厨房は新設、排煙が必要な窓は更新、浴場整備、ランドリーコーナーを新設、浄化槽は整備時に入れ替えた。

② 落合複合住宅はH11・12年で改修(1億8千320万円)。町主導の跡地対策協議会で方向を決定し整備された。耐震対応はしていない(今後の課題)。内装については地元産杉材を使ったパネル工法で施工。貸事務所へは町三セクの事務所とコンサルが入居。

③ 山の楽校（自然の宿あさひ）は地元対策協議会の希望により改修実施。自由に使用してほしい、金はいらないとの考えで複数年かかって整備した。約4

千万円を投資、指定管理で運営中。
④ 類似施設として傍示住宅があるが閉校敷地を活用し町営住宅を新築した。総事業費は4億5千250万円。

広報委員会

議会広報の編集に携わって3年2ヶ月。毎定例会後の発行で今編集体制によりNo16～27号まで発行してきた。

1 点目の変更は、表紙の写真を全面にしたデザインに変更した。

2 点目は、議会終了後2カ月かかっていたのを、翌月発行に変更した。

議会広報にも全国と県のコンテストがある。町民の皆様に親しみやすく分かりやすい広報にするため、全国レベルの技術の習得が必要と思い今回の全国広報研修に参加した。引き続き研修と研鑽



東京都砂防会館で議会広報研修

を重ねてよりよい広報の発行に努める。

研修期間

7月28～29日

場所 東京都千代田区砂防会館

参加者 調査特別委員6名

研修内容 1日目

1) わかりやすい文章表現・表記について

2) 議会広報のリアル視点

3) 広報活動での著作権2日目

議会広報クリニックス全国から寄せられた広報誌の内容を1紙ごとチェック講評

陳情と請願 このように決めました

皆さんの
からの

■採択となったもの

◎「介護職員処遇改善交付金」制度の継続と改善を求める陳情

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の実現を」

国民大運動広島県実行委員会 代表 尾野 進

◎世羅町における地域支援事業（移動支援）の範囲拡大を求める陳情

世羅町障害児者連絡会 会長 安石 英二 他2名

■不採択となったもの

◎年金受給資格期間を10年への短縮を求める陳情

全日本年金者組合広島県本部 執行委員長 谷崎 典彦

※ 委員会の意見 25年と10年では期間など不公平が生じる。

◎「地域主権改革」による行政サービスの低下に反対する陳情

広島公務労組連絡会 議長 葛西 英司

※ 委員会の意見 町議会として提出する内容でない。

■継続審査となったもの

◎町道拡幅及び架橋の要望

東神崎振興協議会 会長 實川 瀧雄

※ 委員会の意見 詳細に調査研究する必要がある。

◎「地域の自主性・自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴う条例改正についての陳情

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の実現を」

国民大運動広島県実行委員会 代表 尾野 進

※ 委員会の意見 内容が漠然としている。財源が明確でない、詳細に調査の必要がある。

◎世羅町議場に国旗を掲揚することを求める要望

日本会議広島世羅支部 事務局長 光元 要

※ 委員会の意見 国旗掲揚には賛否両論あり、調査研究する必要がある。